

「グローバル芸術拠点を目指した戦略的地域活性化プロジェクト  
 一県道223号線が結ぶ芸術活動の拠点づくりー(静岡市清水区と松崎町)」  
 「グローバル芸術拠点(点と展) in Shizuoka」  
 「全国の里を満たすプロジェクト FULL-SATO ー松崎町と歌を育てるー」

2017 Agency for Cultural Affairs Human Resource Development for  
 Culture and Arts Associates Creation Program

**キーワード：**  
 文化芸術アソシエイツ人材育成事業  
 地域貢献  
 グローカル  
 清水  
 松崎町

抄録

期間：2017年 11月21日(火)～2月18日(日) 場所：静岡県静岡市清水区及び賀茂郡松崎町

プロジェクト・コーディネーター：常葉大学造形学部 山本浩二 垂見幸哉

参加・協力アーティスト：静岡県内のアーティスト 韓国国立済州大校教員 タイ国立シラパコン大学教員  
 タイ国立チェンマイ大学教員 韓国弘益大校教員 日本在住韓国人アーティスト 「グローバル芸術拠点(点  
 と展) in Shizuoka」実行委員会 三町綾 MINGLE DESIGN OFFICE 常葉大学学生等 曾根妙子 水野梨奈子  
 相澤洋正 佐藤亜弓 渡辺夏子

(1) 背景・概要

常葉大学造形学部は静岡県静岡市にキャンパスを構えている。東京や名古屋などの大都市から離れた場所で活動する意義として、地域が持つ特色や風土を際立たせることが重要であり、国際的な視野から文化について考えることで、より鮮やかに自身の文化を照らし出すことができると本学部では考えている。このような観点から数年前より西伊豆にある賀茂郡松崎町との連携を深め、大学のお膝元である清水地区との関わりを模索してきた。また、本学部専任教員は11名だが、そのうち2名はタイ、韓国からの教員である。これらの教員の母国であるタイ、韓国の大学とは提携を結び近年特に関係を深めてきている。清水、松崎の両地域においてグローバルという理念を形にすべく、国際交流展を実施し、文化による地域振興の拠点づくりを目指すものである。

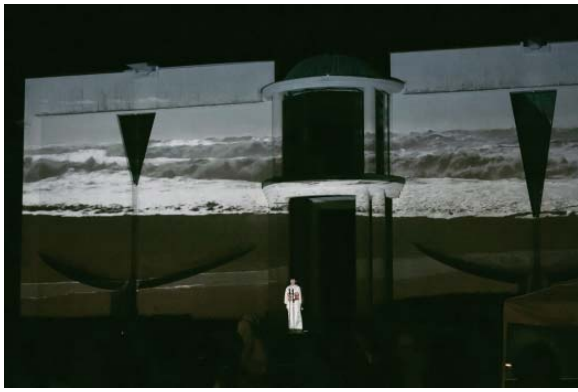
JR清水駅は清水港と隣接しており、商業地域は北口に偏っているため南口は人通りも少ない。そのため観光施設や文化施設を集めて南口周辺の再開発を行った。その一環として、老朽化した清水文化センターを現在の地に移転し建て替え、2012年に静岡市清水文化会館マリナートとして開館した。オペラ、バレエ、コンサート、ミュージカル等の多様な舞台芸術に対応できる多目的施設を整備し、1階はギャラリースペースとなっている。この地域に根ざした文化施設を活用し、展覧会というアクションを起点としてグローバル芸術拠点を築くという目標がそのまま展覧会タイトルになっている。この拠点作りは、今後シャッター街となりつつある北口の旧東海道にあたる清水銀座商店街や清水港日の出埠頭倉庫群なども視野に入れる必要があると考えている。また、松崎町における拠点作りは松崎町役場の協力を得て町内の宿泊施設を確保し、教員や学生の滞在に利用している。2017年度はタイからの短期留学生が取材に訪れ、常葉大学の学生とともに松崎町の絵本を制作するなどしている。松崎

町では廃業した温泉旅館を含む旧依田邸を活用するためNPO法人伊豆学研究会に管理を委託し、週末の一般公開を実施している。昨年度は文化庁からの委託事業ということで松崎町との協力関係を強化していくイベントとして「全国の里を満たすプロジェクト FULL-SATO 一松崎町と歌を育てる一」を立ち上げた。このプロジェクトは本学部と2016年度の文化芸術アソシエイツである曾根妙子と水野梨奈子との共同プロジェクトということになる。

ア. 「全国の里を満たすプロジェクト FULL-SATO  
 一松崎町と歌を育てる一」について

松崎町のプロジェクトでは大きく2つの柱がある。ひとつは本学部助教の垂見幸哉がプロデュースするプロジェクト「松崎町のうた」を複数年かけて作るというものである。プロジェクトマッピングを行ったのは、この町のランドマークである伊豆の長八美術館の外壁で、垂見が制作した映像以外に常葉大学学生制作による映像とソプラノ歌手である曾根の歌を重ね合わせる試みや、「松崎町のうた」の曲披露に合わせて清水出身の東京藝大学生が制作した映像とのコラボなどのプログラムとなっている。イントロダクションとして町民の方々を取材して制作した「松崎の人々」を上映し、本企画の趣旨を言葉で挿入した。この映像を作るためにチラシを作り、町民の方々に企画の説明をしながら取材と告知を同時に行う形となった。(写真1、2)





「松崎町のうた」は作曲家の相澤洋正氏を松崎町に招き、町に滞在して得たインスピレーションを曲してもらい、後から町民の方々に歌詞を考えてもらうというプログラムである。作曲は難易度が高いため専門家に依頼し、町民の方々はメロディーを口ずさみながら歌詞を考える。1曲の決まった歌に収束していくのではなく、町民の数だけ歌が生まれるということも一つのねらいとしてある。町民の手による、それぞれの歌が紡ぎ出されていくというイメージである。歌詞を作るためのワークショップを開催し、町民とともに町について考えることで町に対する理解と想いを深めていくことを期待している。

### イ.「グローバル芸術拠点（点と展）in Shizuoka」について

清水マリナートでの展覧会では本学教員のほか、地元で活躍する若手アーティスト、海外大学からの出品作品約80点が展示された。(写真3)



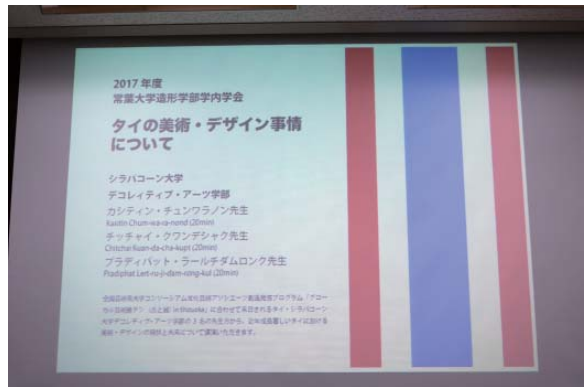
ジャンルはファインアートからデザイン、建築、映像など幅広い作品が展示された。オープニングセレモニーの後、来日したシラパコーン大学の教員によるギャラリートークを行い、自身の作品について解説してもらった。(写真4)



この展覧会に合わせて開催されたシンポジウムは「地域活性化を目指した芸術のアプローチ」というテーマで、シラパコーン大学教員からは子守唄を現代的にアレンジした映像作品の取り組みやタイの伝統的な香りの文化についての研究が紹介された。韓国人アーティストのチェ・ソクホ氏は日本で活動しており、外国人として日本の様々な地域で行ってきた活動について発表した。(写真5)



また、展覧会期間中に常葉大学瀬名キャンパスでセミナーを開催し、シラパコーン大学のプロダクトデザイン、陶芸、建築の各教員によるタイの現代における美術事情についての発表と質疑応答が行われた。(写真6、7)





## (2) 成果

○「グローバル芸術拠点（点と展）in Shizuoka」展及び国際シンポジウムについて

- ・2017年11月21日（火）～26日（日）  
10:00～18:00（マリナート）
- ・マリナート1階展示ギャラリー 小ホール
- ・来場者：714名（シンポジウムを含む）

本展に出品したタイのシラパコーン大学の教員11名が来日し、ギャラリートーク、シンポジウム、セミナーを開催し、交流を深めることができた。また、滞在中にはシラパコーン大学の教員全員が松崎町を訪問し、常葉大学造形学部のこれまでの取り組みや今回のアートイベントについて理解してもらった。このことは本学部が目指すグローバル芸術拠点作りという観点から非常に重要だと考えている。シラパコーン大学からの松崎町へのアプローチとしてはすでに学生5名が短期留学という形で同町を訪れており、今後も継続していくことが話し合われた。また、日本からタイへの訪問も歓迎であるとし、双方における地域交流へと発展していく可能性が生まれた。今回の展覧会はデジタルブックという形で記録し、すべての出品者、関係各所に配布した。

○「FULL-SATO プロジェクションマッピング&コンサート」について

- ・2017年12月9日（土）18:30～20:00（松崎町）
- ・伊豆の長八美術館
- ・来場者：250名

伊豆の長八美術館でのイベントでは多くの来場者があり、中でもコンサートを聴いた「マーガレットコーラス」グループの方から芸能発表会で是非歌いたいので楽譜を送って欲しいとの打診があった。事業計画としては12月9日でイベントは終了の予定だったが、急遽年明けに予定を組み、両アソシエイツと相澤氏に松崎町を訪問してもらい、慰問コンサートやマーガレットコーラスのレッスンなど、交流を深めてもらった。また、同じ日に伊豆文郎においてデジタル表現デザインコース学生とシラパコーン大学学生制作による

「松崎町の絵本」展も開催された。

○「FULL-SATO コンサート」について

- ・2018年2月18日（日）15:30～16:30（松崎町）
- ・松崎町文化ホール
- ・来場者：125名

2月18日には松崎町文化ホールで「FULL-SATO コンサート」を行い、「松崎町のうた」ではマーガレットコーラスの皆さんにも出演していただいた。

また、今後の告知活動のために、「松崎町のうた」のCDを制作した。歌詞のない曲をソプラノの曾根妙子が歌ったもの、カラオケ音源、ピアニストによる編曲バージョンなどが収録されている。今後開催予定のコンサート来場者や、交流が生まれた方々に配布し、曲の認知度を高める努力を続けている。

以上の活動について、特設のWEBサイトを立ち上げ、清水、富士宮、松崎町のそれぞれのページで活動を報告している。特に松崎町に関しては「松崎町のうた」を複数年度で作りあげていく予定であり、その過程での歌詞作りワークショップの様子や歌詞のついた「松崎町のうた」を録音して公開していく予定である。（WEBサイト参照：URL <https://glocalart-r223.jp>）

## (3) 今後の展望・展開

松崎町に関して、マーガレットコーラスグループとの交流を深めつつ、歌詞作りのワークショップを企画している。松崎町では基本的にアソシエイツが中心となって歌作りを進めつつ、獲得予算に応じて美術系が加わるということになる。2018年4月からは「FULL-SATO プロジェクト」と名称変更し、音楽と美術の融合に力点を置いて、今回のような映像と音楽という組み合わせだけでない自由闊達な表現活動を模索していく。

### ポスター・チラシデザイン制作について

「グローバル芸術拠点（点と展）in Shizuoka」は日本（静岡）、タイ、韓国が参加し、この展示において3カ国をつなぐコミュニケーションとして文化と芸術をテーマに交流していくことを表現した。そのアイディアとして各国の窓や扉をモチーフとして構成し、アナログで描いたイラストレーションを中心に制作した。キム・ミンジがイラストレーションを担当、チラユ・ボンワルットが編集デザインを担当した。このイラストレーションは本プロジェクト特設WEBサイトでも使用しており、GIFデータによってアニメーション効果のある「動くポスターデザイン」となっている。（展覧会ポスター参照）



「FULL-SATO プロジェクションマッピング&コンサート」のチラシデザインは垂見幸哉がデザインした。松崎町の特徴的な風景であるなまこ壁とイベント会場となる伊豆の長八美術館のレイヤーを重ねる手法でメインビジュアルを作成している。(FULL-SATO チラシ参照)



全国の星を満たすプロジェクト - 松崎町と歌を育てる -

# FULL-SATO

2017.12.9(Sat.) 伊豆の長八美術館

本企画は複数年にわたり松崎町の歌を作り上げていくというプロジェクトです。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

### PROJECTION MAPPING (ART)

予約不要・入場無料  
※天候により中止となる場合がございます。

18:30 → 19:00 (約30分)

・本展作品 / MINGLE DESIGN OFFICE  
『松崎の人々』 / 常盤大学芸術学部  
『シロコト』 / 常盤大学芸術学部  
『松崎のうた』 / 三町綾・垂見幸哉 and more...

さまざまな日本の風景の中でプロジェクションマッピングという映像表現が融合し、松崎町に新しい風景を創り出します。歴史ある伊豆の長八美術館の今までに無い新しい表情と、現役の美術生が表現するアート・映像の世界を体験してください。

**山本浩二** 文芸評論家・プロジェクションマッピングアーティスト  
1967年生まれ。松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

**垂見幸哉** 文芸評論家・プロジェクションマッピングアーティスト  
1987年生まれ。松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

**三町綾** 1992年生まれ。松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

**常盤大学芸術学部 デザインデザインコース** 3年  
常盤大学芸術学部デザインデザインコース3年生。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

### CONCERT (MUSIC)

先着70名限定・入場無料  
※下記申し込み電話番号にご連絡下さい。

19:10 → 19:40 (一般・立見有り)

「日本人だからできること」を大切にすると、昔懐かしい歌が流れる。日本の伝統(「七つの子」「赤い靴」など)や日本人作家の作品をテーマにしたコンサート。今日、作曲家 松崎正正が手がけた「松崎のうた」をピアノと弦楽器による軽やかなアレンジでお楽しみいただけます。ぜひ会場で体感してください。

**伊藤紗子 / ソプラノ歌手**  
松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

**水野利奈子 / アートマネジメント**  
松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

**松崎正正 / 作曲家**  
松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

**佐藤寛弓 / ピアノ**  
松崎町生まれ。松崎町在住。松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けた曲を作曲し、育てていきます。タイトルFULL-SATOには全国に点在する美しい里を文化で満たしていくというイメージが込められています。

日 時：2017年12月9日(土)  
会 場：伊豆の長八美術館 (〒410-3613 静岡県賀茂郡松崎町松崎23)  
主 催：文化庁 常盤大学芸術学部 (常盤大学芸術学部)  
後 援：静岡県、松崎町、常盤大学、常盤大学芸術学部、常盤大学  
協 力：株式会社ワイルディング、教育産業株式会社  
U R L : <https://glocalart-223.jp/>

申し込み：松崎町役場 企画課 常盤大学芸術学部芸術学部 301-1  
TEL 0558-42-3964

報告 山本浩二・合津正之助・夏池篤・蜂谷充志・田宮浩志・安武伸朗・チヲノボル・ワルット・キムミンシ・土屋和男・垂見幸哉 2017年度文化庁委託事業「文化芸術アソシエイション創造発信プログラム」(グローバル芸術拠点を目指す戦略的芸術活性化プロジェクト)県道223号線が結ぶ芸術活動の拠点づくり「FULL-SATO」松崎町と歌を育てる